

PAT-NO: JP405123367A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05123367 A
TITLE: PET ASH ACCOMMODATOR AND AUTOMATIC TRANSPORTABLE HOUSE ALTAR IN COMBINATION THEREWITH
PUBN-DATE: May 21, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
SATOU, MARIKO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME **COUNTRY**
SATOU MARIKO N/A

APPL-NO: JP03220370
APPL-DATE: August 30, 1991

INT-CL (IPC): A61G017/08 , A47G033/02

US-CL-CURRENT: 27/21.1

ABSTRACT:

PURPOSE: To place ashes of a pet in a house without incompatible sense and form a grave through utilization thereof which does not occupy a large space.

CONSTITUTION: Ashes of a pet are accommodated in a figurehead embodied as pet to form a pet ashes accommodator 1, and this is arranged as capable of being carried out and in automatically between a house altar 21 and a lay-in- state place. At the time of memorial service, the ashes accommodator 1 is carried from the lay-in-state place to the altar 21, and returned when the memorial service is finished.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-123367

(43)公開日 平成5年(1993)5月21日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
A 6 1 G 17/08	J			
A 4 7 G 33/02	D	7137-3K		
A 6 1 G 17/08	L			

審査請求 未請求 請求項の数4(全5頁)

(21)出願番号 特願平3-220370

(22)出願日 平成3年(1991)8月30日

(71)出願人 591190586

佐藤 マリ子

東京都新宿区新宿5丁目1番8号

(72)発明者 佐藤 マリ子

東京都新宿区新宿5丁目1番8号

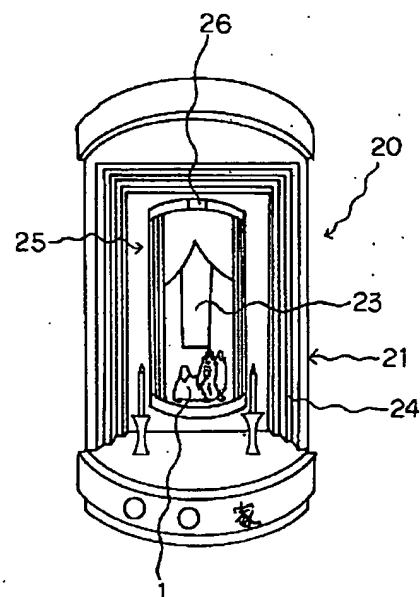
(74)代理人 弁理士 唐木 浄治

(54)【発明の名称】 ペット用骨収納具及びこれを組み合わせた自動搬送式仏壇

(57)【要約】

【目的】 家庭内にペットの焼骨を違和感なく置けるようにすると共にこれを利用してスペースを取らないお墓にする。

【構成】 ペットを形どった置物2内にペットの焼骨を入れてペット用骨収納具1とし、これを仏壇21と安置場所とを自動的に搬出、搬入できるようにし、供養時に仏壇21に安置場所からペット用骨収納具1を搬入し、供養が終われば、元の場所に搬出する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 外観が種々のペットを形どった置物と、該置物内に設けた前記ペットの焼骨を収納するための収納スペースと、該収納スペースに収納した前記焼骨のガタつきを防止する固定体と、前記収納スペースを密封するための蓋とからなることを特徴とするペット用骨収納具。

【請求項2】 前記収納スペースに収納するペットの焼骨は袋体に密封している請求項1記載のペット用骨収納具。

【請求項3】 前記置物に生前のペットの名札及び／又は生前使用していた首輪等を掛けてなる請求項1又は2記載のペット用骨収納具。

【請求項4】 請求項1、2又は3記載のペット用骨収納具、位牌等を組み合わせて収納すると共に所定場所に安置した納骨類収納ケースと、該納骨類収納ケースの出し入れを自在にすると共に前記所定場所に設置した仏壇と、前記納骨類収納ケースをこれの保管場所と前記仏壇との間の往復移動及び出し入れを行なう自動搬送装置とからなり、必要時前記納骨類収納ケースを前記保管場所から前記仏壇に移動及び出し入れして所望個所へ安置することを特徴とする自動搬送式仏壇。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ペット等の焼骨を収納するペット用骨収納具及びこれを組み合わせた自動搬送式仏壇に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ペットが死亡した場合は、そのまま庭に埋葬してお墓を建てたり、庭が狭かったり無い場合は、ペット専門の火葬場を併設した墓地に火葬した後その焼骨を葬っていた。そして、生前のペットの飼い主は、それらお墓に生前のペットに似た置物などを置いて、供養していた。

【0003】また、死亡したペットを火葬に伏したあと、その焼骨を手元に置き、いつも供養してあげたいという飼い主もあり、そのような場合には従来の骨壺等にペットの焼骨を納骨して、飼い主の住宅に安置していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、最近、比較的広い庭を有する家が少なくなり、また、ペット専門の墓地も、土地の値上がり等によりその確保が困難となり、飼い主が生前かわいがっていたペットが死亡した場合、その処置に窮する場面が多くなって来ている。

【0005】更に、死亡したペットの焼骨を骨壺に入れて、住宅内に安置する場合は、家族によってはそれを嫌がる場合もあり、家庭不和の原因にもなりかねない。そこで、本発明は、上記事情に鑑みてなされたもので、ペットの焼骨を住宅内に安置しても違和感がなく、また、

ペット用のお墓のため広い土地がなくても、ペットの焼骨をペット専用でしかも共同でないお墓に納骨することが出来るペット用骨収納具及びこれを組み合わせた自動搬送式仏壇を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明のペット用骨収納具は、外観が種々のペットを形どった置物と、該置物内に設けた前記ペットの焼骨を収納するための収納スペースと、該収納スペースに収納した前記焼骨のガタつきを防止する固定体と、前記収納スペースを密封するための蓋とからなるものであり、また、前記収納スペースに収納するペットの焼骨は袋体に密封しているのが良く、更に前記置物に生前のペットの名札及び／又は生前使用していた首輪等を掛けているのが良い。

【0007】そして、上述のペット用骨収納具及びこれを組み合わせた自動搬送式仏壇請求項1、2又は3記載のペット用骨収納具、位牌等を組み合わせて収納すると共に所定場所に安置した納骨類収納ケースと、該納骨類収納ケースの出し入れを自在にすると共に前記所定場所に設置した仏壇と、前記納骨類収納ケースをこれの保管場所と前記仏壇との間の往復移動及び出し入れを行なう自動搬送装置とからなり、必要時前記納骨類収納ケースを前記保管場所から前記仏壇に移動及び出し入れして所望個所へ安置するものである。

【0008】

【作用】上記構成になるペット用骨収納具によれば、置物の蓋を外して収納スペースを開き、この収納スペースにペットの焼骨を収納し、更に、固定体を入れて置物に蓋をして収納スペースを密封すると、置物を振っても焼骨がガタつかず、外観上も通常の置物と変わらず、住宅内に置いても違和感がない。

【0009】また、ペットの焼骨が袋体に密封してあると、散逸せず、衛生的でもあり、置物にペットの名札や首輪を掛ければ、ペットを特定でき親しみが湧く。そして、供養を必要とした際、所定場所に安置したペット用骨収納具、位牌等を組み合わせ収納した納骨類収納ケースを、自動搬送装置にて所定場所に設置した仏壇に移動し、仏壇内の所望個所に置き、仏壇内に置いた納骨類収納ケース内の特定のペット用骨収納具、位牌等を供養することが出来る。供養が終わったら、収納類収納ケースを自動搬送装置にて所定場所に戻し安置する。

【0010】

【実施例】以下、本発明の実施例を添付図面に基づいて詳述する。図1は、本発明のペット用骨収納具の斜視図、図2は図1の矢線A方向から見た裏面図である。

【0011】図において、1は、本発明のペット用骨収納具を示し、このペット用骨収納具1は、外観がペットの犬を形どった置物2と、該置物2内に設けた前記ペットの犬の焼骨を収納するための収納スペース3と、該収

納スペース3内に収納した前記焼骨のガタつきを防止する固定体4と、前記収納スペース3を密封するための蓋5とからなる。

【0012】この置物2は、図1ではペットの犬を形どっているが、生前のペットが猫であれば、猫を形どり、それぞれ生前のペットが何であるかにより、その形状を合わせる。また、この置物2の材質は、主に陶器、磁器、あるいはプラスチックが使用されるが、材質は特に限定しない。そして、この置物2には、収納スペース3がある。

【0013】収納スペース3は、ペット、この場合犬の火葬後の焼骨を収納出来る容量があれば、特にその形状を限定しない。この収納スペース3はペットの焼骨を収納したあと、その焼骨がガタつかないように固定体4も同時に収納する必要がある。

【0014】この固定体4は、収納スペース3に収納したペットの焼骨がガタつかなければ、その方式、形状に限定がない。本実施例では発泡スチロールを使用している。また、スプリング、エアバックなどであっても良い。

【0015】また、蓋5は、収納スペース3内にペットの焼骨及び固定体4を収納したあと、収納スペース3を密封できるものであれば、その方式、形状ともに限定しない。例えば、収納スペース3の出入口にパッキンをはめて、蓋5をねじ込むような方式でも良い。

【0016】そして、前述のペット用骨収納具1の収納スペース3に収納するペットの焼骨6は、図3に示すように、包体7に密封されている。従って、焼骨6が散逸したりすることもなく、衛生的である。この包体7は、通常ビニールバッグが使用されるが、それに限定せず焼骨6を密封できるものであれば、いかなるものでも良い。

【0017】また、置物2の首2aには、図4に示すように、生前のペットの名前を記入した名札8をつり下げたり、生前ペットに使用していた首輪9等をつり下げても良い。このようにすることにより、置物2の形状が生前のペットにあまり似ていなくても、この置物2は、飼い主がかわいがっていたペットであることを、第三者にも容易に特定させることが出来る。

【0018】図5、6は、猫の形状の置物10であり、その他の構成は図1、2と全く同様であるから、図面に符号を付してその説明を省略する。上記構成になるペット用骨収納具1は、図7～9に示す次のような自動搬送式仏壇20と共に飼い主や、その家族により参拝される。すなわち、この自動搬送式仏壇20は、仏壇21と、この仏壇21と納骨庫との間でペット用骨収納具1を出入庫する自動搬送装置22とから構成している。

【0019】図7は供養室にセットされる仏壇を示すものであり、この仏壇21は、ペット用骨収納具1及び位牌等23を収納できるものであれば、いかなる形状、構造の

ものであっても良い。図6では、筒状の形状に成形された仏壇を用いてあり、表側の扉24が自動的に開閉できるように構成されている。すなわち、この仏壇21は、図8に示すように、供養を必要としない場合、仏壇21の扉24を閉じており、供養を必要とする場合は、扉24が開くように構成している。したがって、供養する場合のみ仏壇21の扉24が開き、仏壇21内にセットされているペット用骨収納具1及び位牌等23を見ることが出来る。また、このペット用骨収納具1及び位牌等23は、納骨類収納ケース25内に収納してあり、いかなる形状、構造のものでよく、要はこれらの収納物が簡単容易に収納できるものであればよい。この仏壇21は、ほぼ半円形の筒体状に一体成形されており、表側にはアコーディオン方式の扉24が取り付けられている。ワンタッチの自動操作（図示せず）によって、扉24が中央部から両側に開き仏壇21の中が表われることになる。また、仏壇21内は内側の両側が多段式に形成されており、奥の中央部に納骨類収納ケース25が収納できるように構成されている。

【0020】また、納骨類収納ケース25の上方部には、図9に示すように、上下往復移動用のワイヤー26が取り付けられてあり、仏壇21の上方部からの出し入れを自在になるように構成されている。

【0021】この納骨類収納ケース25を搬送する自動搬送装置22は、従来公知のものであり、納骨類収納ケース25を中継場所と仏壇21との間を運搬する仏壇セット用クレーン27と、前述の中継場所と納骨類収納ケース25を格納している納骨庫との間を運搬する搬送コンベア（図示せず）とから構成されている。

【0022】納骨庫は多列多段とした納骨棚があり、それら納骨棚上に前述の納骨類収納ケース25を安置する。この納骨庫は、みたまが永遠に安らぎの場であり、その防火等の安全性、特に耐震性に留意している。また、収容量が多いためにその構造は高層にせざるを得ないが、独特のインロー（エッジ）を施した防蝕スチールによる合成構造により、ペット用骨収納具1や位牌等23の振動、落下が完全に防止されている。また、納骨庫内の塵埃を防ぐために取り出し口を除いて全覆方式になっている。また、図示されていないが納骨庫内には、その納骨庫内の空気を常に心地好い状態に保ち、更にはその構造体、納骨等に湿気、その他の悪影響を及ぼさないためにエアコンディションが設置されている。

【0023】なお、納骨庫の各納骨棚の所定位置に納骨類収納ケース25を出入庫するには、各納骨棚と搬送コンベアとの間に配設したクレーン走行路上を走行するクレーン（ロボスタッククレーン）により行なわれる。すなわち、このクレーンは、納骨棚の指定間口と前述の搬送コンベアとの間を往復し、かつクレーン上のハンドリング装置が昇降して納骨類収納ケース25を指定の納骨棚に置いたり、取り出したりする。

【0024】また、供養室28に設置した仏壇21と納骨庫

5

の指定した納骨棚との間を納骨類収納ケース25を自由自在に搬入搬出するためには、精度の高いコンピュータが必要であるが、この種の装置は立体駐車場においてすでに従来公知である。

【0025】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明のペット用骨収納具によれば、置物の蓋を外して収納スペースを開き、この収納スペースにペットの焼骨を収納し、更に、固定体をいれて置物に蓋をして収納スペースを密封すると、置物を振っても焼骨がガタつかず、外観上も通常の置物と変わらず、住宅内に置いても違和感がない。従って、生前かわいがっていたペットをいつまでも手元に置くことが出来、家庭不和の原因となることもない。

【0026】また、ペットの焼骨が袋体に密封してあると、散逸せず、衛生的でもあり、置物の収納スペースにも入れ易いなどの効果があり、置物にペット名を記した名札や首輪を掛ければ、ペットを特定でき親しみが湧き、飼い主を満足させる。

【0027】そして、供養を必要とした際、所定場所に安置したペット用骨収納具、位牌等を組み合わせ収納した納骨等収納ケースを、自動搬送装置にて所定場所に設置した仏壇に移動し、仏壇内の所望個所に置き、仏壇内に置いた納骨等収納ケース内の特定のペット用骨収納具、位牌等を供養することが出来る。供養が終わったら、納骨等収納ケースを自動搬送装置にて所定場所に戻し安置する。従って、ペット用のお墓のための広い土地

6

がなくても、ペットの焼骨をペット専用で、しかも共同でないお墓に納骨すると同様な感じを飼い主に生じさせる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のペット用骨収納具の斜視図。

【図2】図1の矢線A方向から見た裏面図。

【図3】ペットの焼骨を包体に密封した状態を示す斜視図。

【図4】ペット用骨収納具に名札及び首輪を掛けた状態を示す斜視図。

【図5】他の実施例を示す図1と同状の斜視図。

【図6】他の実施例を示す図2と同状の斜視図。

【図7】本発明の自動搬送式仏壇を示す正面図。

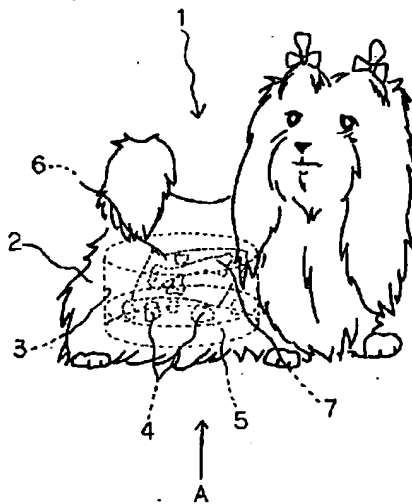
【図8】扉を開いた状態の自動搬送式仏壇を示す正面図。

【図9】自動搬送式仏壇を示す断面図。

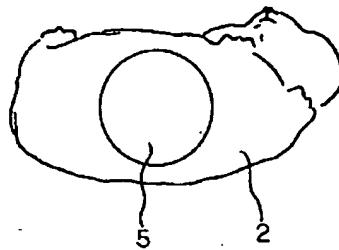
【符号の説明】

1	ペット用骨収納具	2、10	置物
3	収納スペース	4	固定体
5	蓋	6	焼骨
7	包体	8	名札
9	首輪	20	自動搬送式仏壇
11	仏壇		
21	仏壇	23	位牌等
25	納骨類収納ケース		

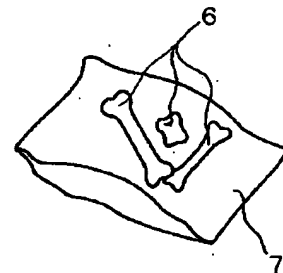
【図1】



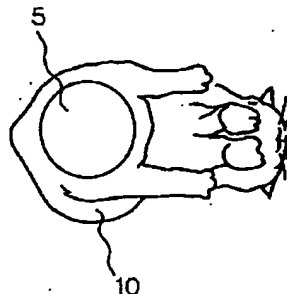
【図2】



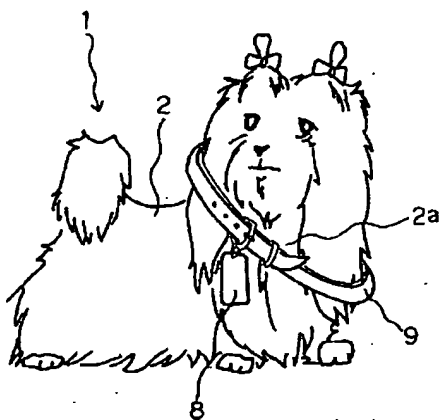
【図3】



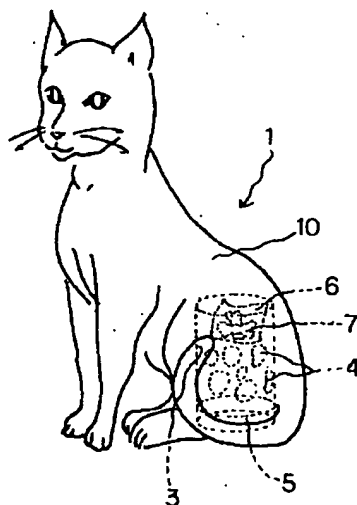
【図6】



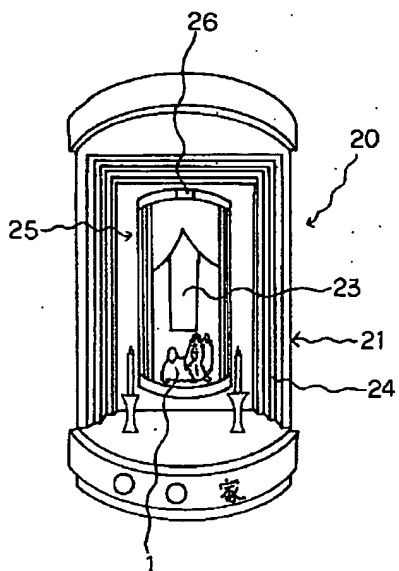
【図4】



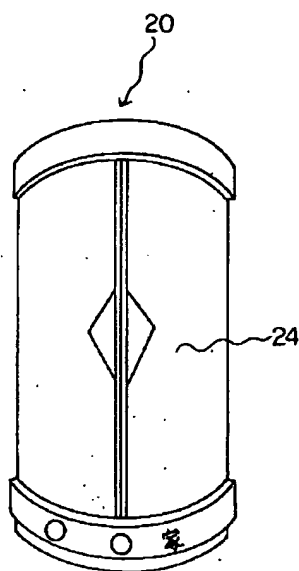
【図5】



【図7】



【図8】



【図9】

